

6 - 1 日本及び朝鮮における年別地震回数の変化

Variation of Annual Number of Felt Earthquakes in Japan and Korea.

東京大学地震研究所 宇佐美龍夫

Tatsuo Usami, Earthquake
Reserch Institute, University of Tokyo

資料としては、武者による日本地震史料4冊を使い、これに、若干の史料を補った。第1図は朝鮮、第2図は日本の場合である。黒塗りは被害地震、白抜きは無被害の有感地震である。余震は除いてある。群発地震と前震は一つ一つ数えて図に含まれている。鳴動の場合は、地震によるものと思われるもののみを採用した。

時代が下るとともに、地震の絶対数は増えてくるが、これは史料が豊富になるからで、地震数が増えたのではない。したがって、この図をみるに当っては、絶対数より、その消長を問題にしてほしい。

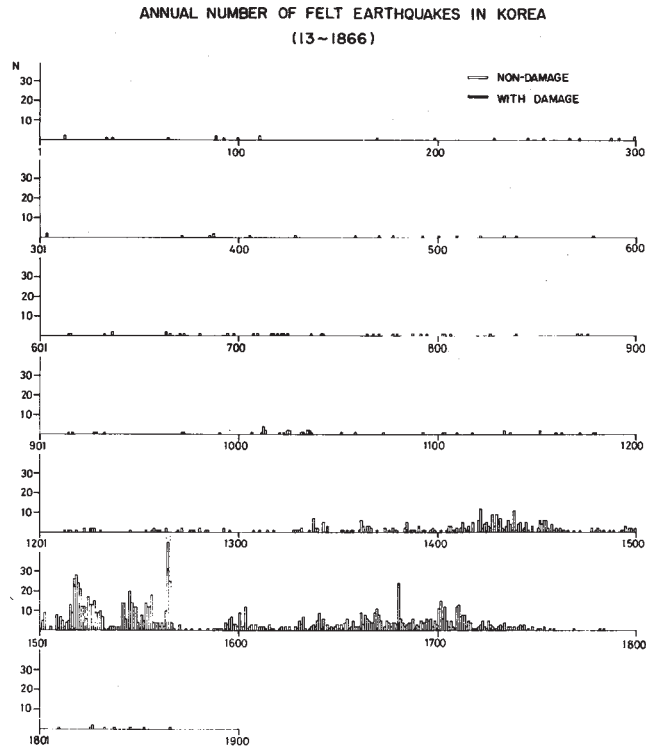
朝鮮では、1420, 1520, 1700年を中心とした活動期がみられる。また被害地震は5～7世紀, 16～17世紀に多い。

日本では、860, 1240, 1360, 1600, 1700, 1850年ころに活動期がみられる。1700年の活動期を除くと、日本と朝鮮の活動期には一致するものがない。活動周期については、諸賢の御判断に委せたい。

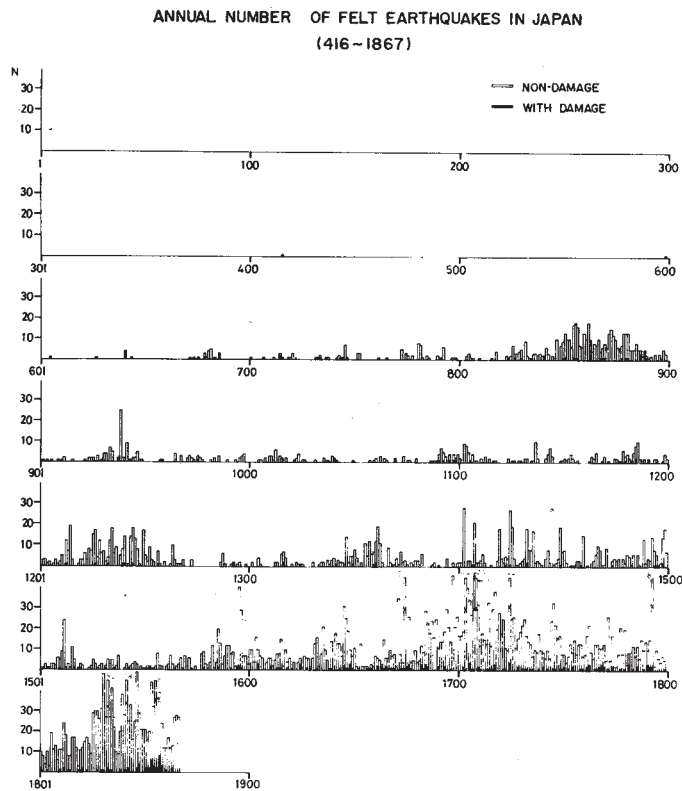
参 考 文 献

武者金吉, 増訂大日本地震史料, 第1～第3巻, 1941～1943, 文部省震災予防評議会

武者金吉, 日本地震史料, 1949, 毎日新聞社



第1図 朝鮮における年別有感地震回数
Fig. 1 Annual number of felt earthquakes in Korea



第2図 日本における年別有感地震回数
Fig. 2 Annual number of felt earthquakes in Japan.